

年金者組合三八支部ニュース

第247号 2012年3月22日
発行責任者 高橋 靖昌 (三八支部委員長)
Tel 0178 (43) 8249
〒039-1166 八戸市根城7-7-19

全国に連帯、雪を押し三八も集会



主催者挨拶をする
松山力実行委員長
(日本科学者会
議八戸分会長)
写真左



写真右
オレンジのは
つぴを着て参加
する年金者組合

冷たい風雪の中、長者まつりめぐ広場で「原発ゼロを目指す3・11全国いつせい行動、なくせ！原発・核燃三八地区集会」が開かれた。集会は、うみねこ合唱団のうたごえの後、松山力実行委員長は「人類と原発は共存できないことが明らかになった。命と健康、地域と豊かな国土を守るために、政府に原発ゼロの決断を迫ることは緊急の課題だ。原発ゼロ、核燃廃止を目指す運動をさらに発展させ、幅広い共同を広げ一日も早く『原発ゼロ』の日本を実現しよう。」と力強く訴えました。

次に、ふくしま復興共同センター放射能対策子どもチームのメッセージが紹介された。「子どもたちを放射能被害から守るため、署名を12万集め、国会に提出した。」「なくせ原発10・30 大集会を1万人の参加で成

「原発いららない、核燃なくせ」とパレード
なくせ！原発・核燃3・11三八集会に220名

功させた。「子どもたちの体重が増えないなどの異変を感じている。子どもの発育状況を把握して対策をとるように国や県に求めてきた。先ずは、18歳以下の医療費の無料化を原発を推進してきた国の責任でやるべきだ。」と述べている。

集会後、「青森県民は、日本で最も危険な『原子力推進県』に住んでいる。事故が起これば、福島の水にはない大災害が起きる。原発・核燃に頼らない社会を求めましょう。」と訴え、パレードをした。

年金切り下げ、消費税増も許されるものではない 3・13重税反対全国統一行動八戸集會に150名

3・13重税反対全国統一行動八戸集會が、プラザホテルで開かれた。大雪が降り、まだ道路の除雪が行われていない中、年金者組合から6人が参加した。

入口で、参加者に、年金切り下げ反対の署名の協力を訴えた。

集會では、佐藤副委員長が、「年金を2・5%下げ、消費税を10%に上げることはとんでもないことです。許されるものではありません。反対の闘いを強化します。」と年金者組合の活動を強化する決意を表明した。

集會後、税務署に行き、年金者組合で集めた「年金切り下げ反対」の政府に対する請願署名53人分を高橋委員長が税務署長に手渡した。その後、参加した約100業者による「集団申告」が行なわれた。

請願書を読み上げる高橋委員長(下)



力強く決意表明する佐藤副委員長(写真上)

第2回支部委員会 開催のお知らせ

2012.3.22

年金者組合三八支部

執行委員長 高橋 靖昌

- 日時 4月11日(水)1時半～4時半
- 場所 長者公民館
- 議題 ・総合6ヵ年計画について
・春の仲間増やし月間の取り組み

聞いてよ

ふらりと旅をする

一山 正子

2月に、夫婦で夜行バスに乗り、富士宮、熱海、箱根、神奈川と気の向くまま、寒さから逃れ、暖かい方へ、お金のかからない旅をしました。

富士宮には、妹がおり、案内してもらいました。何処を歩いても自分の目の前に雪を頂いた富士山がそびえ立ち、とてもすばらしかった。数年前、あの美しい富士山の頂上に立ち、御来光を拝んだことを思い浮かべ、よくぞ登ったものだ、感慨ひとしおでした。

雨ふりで、箱根には行けなかつたので熱海の温泉に泊まりMOA美術館に行くことにしました。会館30周年記念で、尾形光琳筆の国宝「紅白梅図屏風」を観ることができました。何百段もの階段やエスカレーターがある立派な美術館で箱根よりもむしろ良かったかもしれないうちと思いました。

大震災で、様々なことを考えさせられる中で旅の多いところといえます。あの美しい姿を見て、これからは、何事も起こらないでほしいと願ってやみませ